

福祉の視点から地域を伝える社協の広報誌

つるの福祉

TSURUNOFUKUSHI

5月号 MAY.2026 No.179

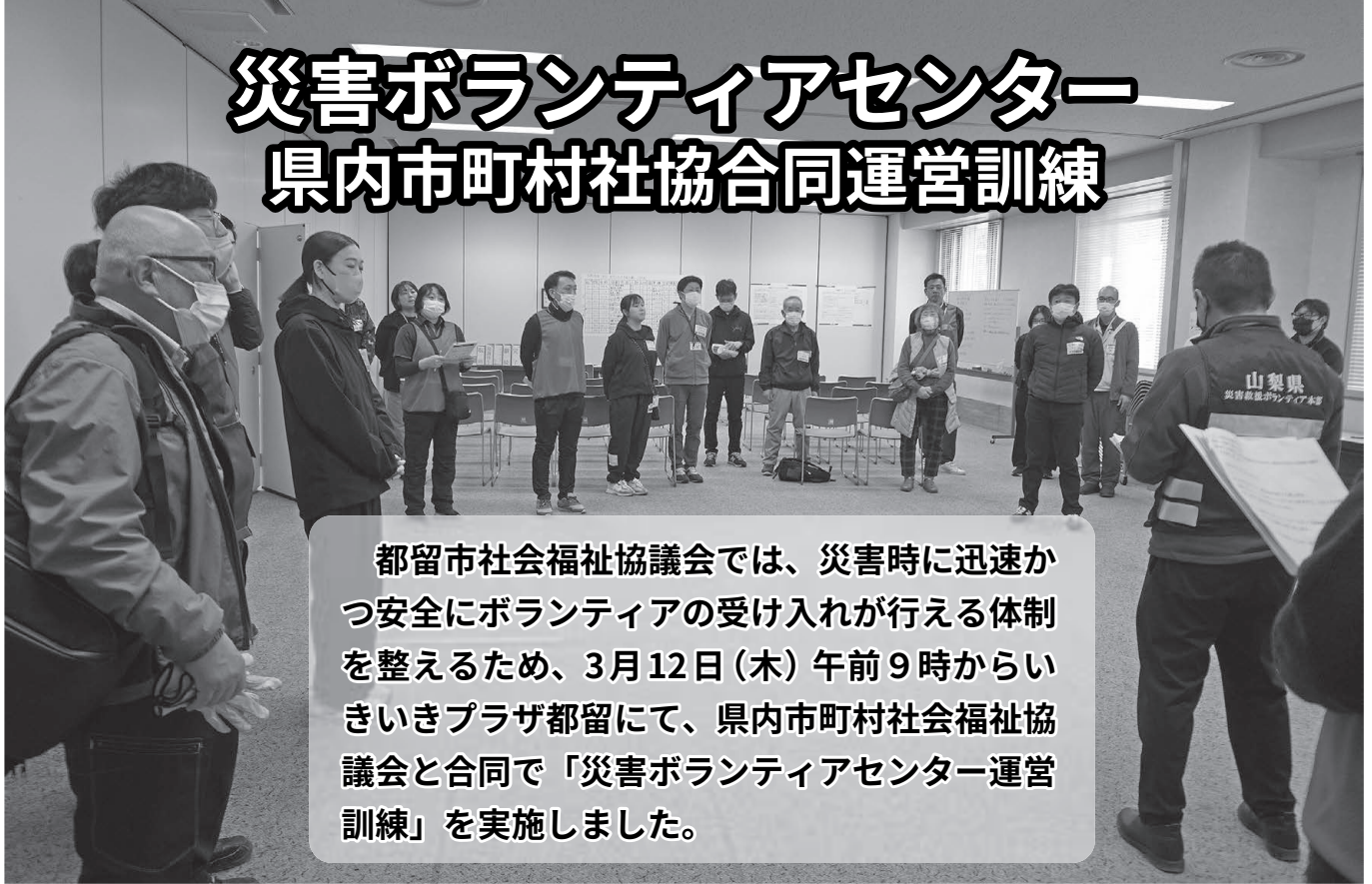


特集 災害ボランティアセンター運営訓練



この広報誌は赤い羽根共同募金配分金などにより発行しています。

災害ボランティアセンター 県内市町村社協合同運営訓練

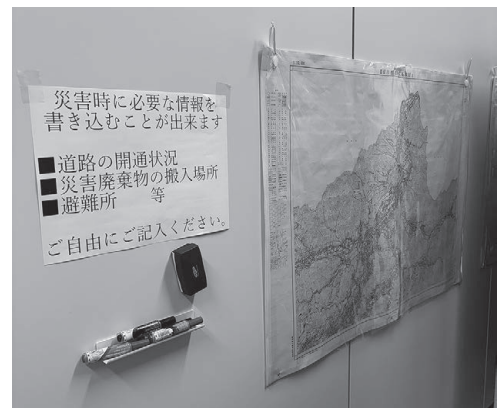


都留市社会福祉協議会では、災害時に迅速かつ安全にボランティアの受け入れが行える体制を整えるため、3月12日(木)午前9時からいきいきプラザ都留にて、県内市町村社会福祉協議会と合同で「災害ボランティアセンター運営訓練」を実施しました。

訓練の想定

令和8年2月末から3月1日にかけて県東部・南部で記録的な大雨により、都留市宝地区の2か所でがけ崩れが発生し、家屋の全壊や土砂流入などの被害を確認しました。

災害ボランティアセンター開設後、平日は平均30名のボランティアの受け入れのため市社協職員のみで対応が可能でしたが、週末には100名を超えるボランティアの来訪が予想されるため、県内市町村社協へ職員派遣を要請した、という状況設定です。



オリエンテーション・マッチング



当日受付

当日の参加体制

市民の皆様が8名、県内市町村社会福祉協議会から11名の職員が参加し、災害ボランティア役、派遣職員役として訓練に加わりました。

訓練内容と成果

訓練では、派遣職員が30分程度のオリエンテーションを受けた後、実際の運営支援に入る流れを確認しました。

また、少人数の運営体制の中で、100名を超えるボランティアを安全に現地活動へ送り出すための受付～送り出し～活動報告の手順を検証し、次の訓練に向けた反省点・改善点の洗い出しを行うことができました。



今回の訓練を通じて、災害時における市町村社協間の連携強化と迅速な受け入れ体制の構築に向けた課題と改善点を共有することができました。

訓練にご協力いただきました市民の皆様、県内の市町村社協の職員の皆様、誠にありがとうございました。

令和8年度事業計画

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる社会を目指し、令和8年度は「第3次都留市地域福祉活動計画」の後半戦へと踏み出します。

これまでの歩みを再点検し、ボランティア関連事業を始め、被保護者就労支援事業や各介護保険サービス事業などを展開し、誰一人取り残さない地域共生社会の実現を目指します。



福祉教育事業



ボランティア関係事業



介護保険サービス事業



各種相談事業



災害関係事業



事業計画は
こちらから



令和8年度当初予算

収 入	(単位：円)
会費収入	5,109,000
寄付金収入	1,102,000
経常経費補助金収入	61,408,000
受託金収入	29,087,000
貸付事業収入	200,000
事業収入	743,000
負担金収入	250,000
介護保険事業収入	144,841,000
障害福祉サービス等事業収入	17,800,000
受取利息配当金収入	519,000
その他の収入	515,000
積立資産取崩収入	2,572,000
前期末支払資金残高	50,010,000
合 計	314,156,000

支 出	(単位：円)
人件費支出	198,758,000
事業費支出	33,587,000
事務費支出	16,019,000
貸付事業支出	191,000
共同募金配分金事業費	2,034,000
助成金支出	5,156,000
負担金支出	219,000
固定資産取得支出	2,972,000
積立資産支出	55,220,000
合 計	314,156,000

都留市社会福祉協議会 会費のお願い

誰もが住みよい福祉のまちづくりのために、社協会費納入のご協力をお願いいたします。

社協会費は、事業計画に掲げる住民主体の福祉活動を推進するため、また、各種事業が住民の参加、助け合いによって進められるために欠かすことのできないものです。この会費には次のようなものがあります。

- (1) **一般会費**（1世帯年額 700 円）各地区自治会を通して市民の皆様からいただく会費
- (2) **特別会費**（1口年額 3,000 円）社会福祉関係団体、地域民生委員協議会、民間福祉施設からいただく会費
- (3) **賛助会費**（1口年額 3,000 円）学識経験者、篤志家、会社及び団体からいただく会費

6月に各自治会長を通して、各世帯から一般会費の納入、8月から特別会費及び賛助会費の納入のお願いをする予定です。福祉の充実に向け、皆様のご支援をお願いいたします。

【皆様からいただいた会費は様々な事業に活用されています。】



有償ボランティア



まぜまぜフェス



サロン活動

善意銀行事業

2月2日(月)に禾生第二小学校5年生の皆様から、お米10Kgのご寄付をいただきました。このお米は児童や地域の方々を合わせ大切に育てたお米とのことでした。



ご寄付いただいたお米は、都留市川茂にある浄泉寺で実施されている地域食堂のために活用していただくよう橋渡ししました。皆さん、ありがとうございました！



地域食堂では、たくさんの人々が集まり、交流しています。3月19日(木)には、禾生第二小学校の皆さんからご寄付いただいたお米で炊き込みごはんをつくって、おいしく召し上がったそうです！



善意銀行への寄付

●ペットボトルキャップ

日伸総建(株)、スターらんど、チャレンジドリーム、坂田ひろみ、山谷花子、都留興譲館高校、田原老人クラブ伸寿会、真心の里職員一同、渡邊一由、西東京ゴルフクラブ、クレイン農業協同組合都留農機センター、都留市ターゲットバードゴルフ協会、石原会計事務所、都留文科大、(株)カネキ自動車、幡野和子、ジャンメダイカスト(株)、古屋志け美、グラウンドゴルフ協会、健康科学大、コバヤシ仏壇酒井保、たがい・たてあいたすけあいの会21kg、コニカミノルタメカトロニクス(株)、都留市役所、他匿名

●プルタブ

鬢柳幸次、坂田ひろみ、田原老人クラブ伸寿会、真心の里職員一同、石原会計事務所、ジャンメダイカスト(株)、山谷花子、酒井保、たがい・たてあいたすけあいの会2kg、コニカミノルタメカトロニクス(株)

●古切手

日伸総建(株)、都留市役所総務部総務課、むつみの会、山谷花子、ガールスカウト山梨県第10団、クレイン農業協同組合都留農機センター、たがい・たてあいたすけあいの会

●未使用はがき

平井邦子

●壁掛け・卓上カレンダー

甲州富士山ライオンズクラブひまわり支部

●文房具

生活協同組合ユー・コープやまなし県本部

●お米

都留市立禾生第二小学校10kg

●冷凍食品

匿名

●寄付金

デイリーヤマザキ都留バイパス店/15,933円
リフォームボランティア/20,000円
都留市はつらつ鶴寿大/8,628円

※令和8年1月〜3月の寄付 社会福祉のために(順不同・敬称略)

お願い

- 一度に大量のペットボトルキャップやプルタブの寄付をご希望の方は事前にご連絡ください。
- ペットボトルキャップ、プルタブは事前に洗ってお持ちください。
- 飲料用キャップ以外(調味料・洗剤のフタ、ビン、金属類など)は混入しないようお願いします。
- ペットボトルキャップ、プルタブ以外の寄付物品については、受渡し先の確認があるため、事前にお問い合わせください。

谷村第三小学校で福祉教育(講演)が行われました!



2月20日(金)に谷村第二小学校にて、東京2025デフリンピック卓球男子団体において見事銅メダルを獲得した亀澤史憲選手より、耳が不自由な人の生活や関わり方などについて講演がありました!

通いの場交流会を行いました!



1月29日(木)に通いの場交流会を実施し、総勢54名の参加者と和気あいあいと交流しました!

協力者: 東京都介護予防・フレイル予防推進センター、都留市長寿介護課、都留市の通いの場の皆さん

ボランティア団体交流会を行いました!

1月13日(火)にボランティア団体交流会を実施しました。ボランティアをはじめたきっかけ等お互いに情報交換しながら楽しく交流することができました。武蔵野大学の渡辺先生、参加者の皆様ありがとうございました。



職員募集



嘱託職員（介護支援専門員）

採用予定人数	1名		
必須資格	介護支援専門員の資格を有する方		
基本給	210,000円～		
手当	特殊勤務手当(11,000円)、通勤手当など		
賞与	年2回		
応募期間	随時(募集人員が充足した時点で募集締切)		
試験日	後日、ご連絡いたします。	試験内容	面接試験

有期雇用職員（訪問介護員(ヘルパー)）

採用予定人数	若干名		
必須資格	介護職員初任者研修(旧ヘルパー2級) 実務者研修(旧ヘルパー1級)、介護福祉士のいずれの資格を有する方		
時給	1,065円～(土曜日・日曜日・祝日は時給に300円を加算します。)、移動賃金		
手当	処遇改善手当(9,000円)、燃料費		
賞与	年2回		
応募期間	随時		
試験日	後日、ご連絡いたします。	試験内容	面接試験

※提出書類などの詳細については、社協ホームページをご覧ください。

総合相談事業

司法書士による相談会(要予約)

日常生活の中で起きる法律に関わる問題（相続・遺言、成年後見制度、不動産登記、少額訴訟手続き、借金返済相談など）について、司法書士が無料で相談に応じます。

事前予約制となっておりますので、相談を希望される方は下記連絡先までお問合せください。

相談時間：午後1時～4時 ※一組45分

相談員：山梨県司法書士会、司法書士総合相談センター所属司法書士

相談場所：いきいきプラザ都留2階 相談室

司法書士による相談会(要予約)

日程	
5月	1日(金)
	15日(金)
6月	5日(金)
	19日(金)
7月	3日(金)
	17日(金)

福祉の相談窓口

どこに相談したらよいかわからない生活上の困りごとや悩みごとなど、福祉に関する困りごとについて社会福祉士、精神保健福祉士、相談支援専門員などが社協窓口・電話で相談をお受けします。

相談は無料です。ご本人でなくても構いません。

相談時間：毎週月曜日から金曜日(祝日は除く)午前8時30分～午後5時15分

相談員：社会福祉士、精神保健福祉士、相談支援専門員など

相談場所：いきいきプラザ都留2階



生活困窮者自立相談支援事業

経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある方に対して、個々の状況に応じた支援を行い、自立の促進を図ることを目的として相談をお受けします。一人で悩まず、まずはご相談ください。

相談時間：毎週月曜日から金曜日(祝日は除く)午前8時30分～午後5時15分

相談場所：いきいきプラザ都留1階 福祉課内 (担当 飯島、河西)

【問合せ・申込先】 都留市社会福祉協議会 ☎ 0554-46-5115

都留市社会福祉大会

3月4日(金)に第44回都留市社会福祉大会を開催しました。この大会は社会福祉の発展に貢献のあった方々及び団体を表彰し、記念講演として、フリーアナウンサーの小久保晴代様をお招きし、「介護予防・認知症予防として、何をすべきか!」と題した講演を行いました。



● 顕彰者

デフリンピック東京大会銅メダル

亀澤史憲、藤本六三志

厚生労働大臣表彰

● ボランティア活動(団体)
つみかごの会

全国社会福祉協議会会長表彰

● 社会福祉団体職員
長谷川和也

山梨県社会福祉協議会会長表彰

● 民生委員・児童委員
高山春美、新田実、藤江峰夫、
程原正明、宮原正伯

● 社会福祉団体職員
酒井鈴江、佐野新、保延千里

● ボランティア活動功労表彰(団体)
傾聴ボランティアアートの会、
新日本婦人の会、
都留市明るい社会づくり運動推進会議、
都留市自衛隊協力会、
都留市商工会女性部、
はつらつ学園学級、ビリーブ、
山梨県更生保護女性連盟都留地区
更生保護女性会

● 社会福祉団体職員
今泉美智代、剣持貢、小林廣美、
西室稔子、宮澤真二、米山悦子
● 老人クラブ
河野迪治、平井重子、山田民子、
米山博光、渡邊信彦
● 民生委員・児童委員
浅田昭男、石井多喜子、
岩村一臣、荻窪久夫、奥秋照二、

● 表彰者・感謝状贈呈者

都留市長表彰

● 社会福祉団体職員
米山園美

● 老人クラブ
志保澤保子

● 民生委員・児童委員
飯野利光、石井隆、板倉勉、
伊藤利花、長田健、加藤孝枝、
曾根すみ江、中江恵子、
羽田ひで子、平井ひとみ、
古家治代、渡邊なおみ

● ボランティア活動(個人)
野武マキ子

● ボランティア活動(団体)
こぐまクラブ、ひまわり会

都留市社会福祉協議会会長表彰

● 社会福祉団体職員
今泉美智代、剣持貢、小林廣美、
西室稔子、宮澤真二、米山悦子

● 老人クラブ
河野迪治、平井重子、山田民子、
米山博光、渡邊信彦

● 民生委員・児童委員
浅田昭男、石井多喜子、
岩村一臣、荻窪久夫、奥秋照二、

● 都留市老人クラブ連合会会長感謝状
(故)磯村博史、江草廣、
白須敬雄、輻形幸子、
相澤節子

● 都留市老人クラブ連合会会長感謝状
相澤節子

● 都留市社会福祉協議会会長感謝状
小俣幸夫、澁沢栄一、
オール山梨JCシニアクラブ

● ボランティア活動(個人)
今泉たつ子、遠藤亨、田中君江、
田中範子、田邊里美、内藤茂子、
宮下光子

● ボランティア活動(団体)
おもちゃ病院「ムササビ」、
織つる会、さくら会、
つるつ子プロジェクト実行委員会、
都留文科大学吹奏楽部、華の会、
紅富士太鼓、ラベンダー

● 都留市社会福祉協議会会長感謝状
小俣幸夫、澁沢栄一、
オール山梨JCシニアクラブ

● 都留市老人クラブ連合会会長感謝状
(故)磯村博史、江草廣、
白須敬雄、輻形幸子、
相澤節子

● 都留市老人クラブ連合会会長感謝状
相澤節子

● 都留市老人クラブ連合会会長感謝状
相澤節子

● 都留市老人クラブ連合会会長感謝状
相澤節子

● 都留市老人クラブ連合会会長感謝状
相澤節子

● 都留市老人クラブ連合会会長感謝状
相澤節子

● 都留市老人クラブ連合会会長感謝状
相澤節子

赤い羽根共同募金報告

募金額合計：4,023,859円

(令和8年3月31日現在)



PayPayによる
寄付も可能です。
是非ご寄付ください。



令和7年10月1日(水)～令和8年3月31日(火)までの間、赤い羽根共同募金にご協力いただきありがとうございました。

集められた募金は、都留市の福祉教育や広報発行、災害関連事業に活用させていただきます。ありがとうございました。

ボランティア活動保険

ボランティア活動中の万が一の事故（自身のケガや他者への賠償）に備える保険です。安心して活動を続けていただくために、ぜひ加入をご検討ください。

□**対象となる活動**：自発的な意思による無償のボランティア活動

□**補償内容**：

- ・活動中のケガ（通院・入院・死亡）
- ・活動中の事故による賠償（相手にケガをさせた、物を壊したなど）
※熱中症や食中毒も対象となります。

□**保険期間**：4月1日～翌年3月31日（中途加入も可能）

ボランティア活動を始めるなら、まずはご相談ください。

基本プラン

350円

天災・地震
補償プラン

500円

ボランティア団体助成金

誰もが住みよい福祉のまちづくりを進めるため、地域の中で自主的に活動し、都留市ボランティアセンターに登録しているボランティア団体・グループに対して、助成金を交付します。

【助成の対象】

都留市に活動拠点を置き過去1年以上にわたり、以下の事業を行うボランティア団体・グループ

- ①在宅福祉の普及、向上を図る事業
- ②健康、生きがいづくりを推進する事業
- ③地域の保全を図る事業
- ④子どもの健全育成を図る事業
- ⑤その他社会福祉の向上に資する事業

【助成金の額】

1団体当たり5万円を上限とする。ただし、助成金総額は本協議会の予算の範囲内とする。

【助成対処となる経費】

助成事業に直接必要となる経費で、当該年度末までに経費支出が完了するものに限る。

（例）講師謝礼、会議時における茶菓子代、飲料代、印刷費、郵送代、消耗品費、車両燃料費など
※団体構成員の報酬、家賃、水道光熱費、宴会費、お弁当代は対象外となります。

【助成申請期間】

4月1日（木）～
5月29日（金）まで



令和8年度 手話奉仕員養成講習会（入門・基礎編）



地域住民を対象に、
聴覚障害者を正しく理解し、
基礎的な手話を習得することを目的
に養成講習会を開催いたします。



【主催】 都留市社会福祉協議会

【日時】 ○入門編(20回)

【令和8年5月18日(月)～令和8年10月5日(月)】

○基礎編(21回)

【令和8年10月13日(火)～令和9年3月15日(月)】

毎週月曜日 午後7時から9時

※月曜日が祝日の場合は翌火曜日実施

【会場】 いきいきプラザ都留 3階 研修室

【対象者】 都留市内在住の方 25名（市内在住者の申込みが定員に達しない場合は、市外在住者の申込者のうち、受付日時の早い方から順次、定員に達するまで繰り上げて受け入れるものとする。）
ただし、初心者、本講習会受講経験者（入門編は2年目までの方とする）に限ります。

【実費】 3,000円

【申込み】 5月8日（金）までに都留市社会福祉協議会あてに申し込んでください。

【問合せ・申込先】 都留市社会福祉協議会 ☎ 0554-46-5115

介護支援ボランティア

□介護支援ボランティアって？

高齢者のボランティア活動を通じた社会参加及び地域貢献を奨励・支援することにより介護予防を推進し、健やかで生き生きとした地域社会をつくることを目的としています。

□対象

65歳以上の都留市民で、要介護認定、要支援認定、総合事業の介護予防・生活支援サービスを受けていない方で、介護保険料の滞納がない方

□活動例

介護施設等で行うボランティア活動、いーばしょ、ふれあい・いきいきサロン活動で行うボランティア活動、生活支援ボランティア活動等



詳しくは都留市社会福祉協議会（☎46-5115）までお問合せください。

山梨県シルバー作品展

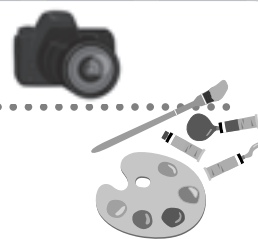
県内各地で開催された高齢者作品展（審査会）において、代表となった優秀作品の展覧会が開催されます。都留市からは、6点の作品が展示されます。

優秀作品として都留市から出品される方は次のとおりです。

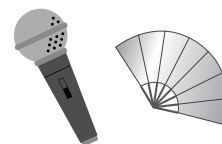
- 洋画の部 内藤 敏和、清水 克彦
- 工芸の部 羽田 久良子
- 書の部 村上 信子
- 写真の部 安藤 行雄、羽田 久良子（敬称略）

【期間】 6月5日(金) 午後2時～午後5時
6月6日(土)・7日(日) 午前10時～午後5時

【会場】 山梨県立図書館1階「イベントスペース」



老人のしあわせの里づくり事業 各種教室会員募集のお知らせ



都留市社会福祉協議会では、「老人のしあわせの里づくり事業」の一環として、都留市老人クラブ連合会の協力のもと、さまざまな教室を開催しています。これらの教室は高齢者の皆さんが自主的に運営し、和やかな雰囲気の中で活動しています。

現在開講している教室は、民謡・詩吟・舞踊・囲碁・将棋・歌謡（カラオケ）・能楽の7教室です。主な会場は「都留市まちづくり交流センター1階 交流室（和室）」で、月1～2回のペースで練習に励んでいます。

また、1年間の練習成果を発表する場として、毎年3月に都の杜うぐいすホール（小ホール）にて「ふるさと祭りおさらい会」を開催しています。

生きがいつくりや社会参加の機会として、身近な仲間とともに楽しい時間を過ごしてみませんか。

新しい教室の開設に関するご要望も受け付けていますので、お気軽に事務局までお寄せください。

【問合せ先】 都留市老人クラブ連合会（つる笑輪会）事務局 ☎46-5115（担当：森嶋）

第42回

ふるさと祭りおさらい会



3月11日(水)、都の杜うぐいすホール(小ホール)において「第42回ふるさと祭りおさらい会」を開催し、約120名の皆さまにご参加いただきました。

このおさらい会は、「老人のしあわせの里づくり事業」として実施している各教室の発表に加え、単位老人クラブの皆さまによる活動発表を併せて行うもので、「ふるさと祭りおさらい会」として毎年開催しています。

当日は、民謡・詩吟・舞踊・歌謡・能楽・ピアノなど、全39演目が次々と披露され、明るく華やかな舞台となりました。

出演者の皆さんは、日頃の練習の成果をいきいきとした表情で発表され、会場は温かい拍手に包まれました。

今回は、初参加となるピアノ演奏や、昨年に引き続き老人クラブ有志の皆さまによる発表もあり、例年以上に盛況な会となりました。

つるのお宝紹介

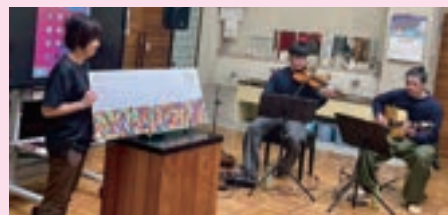
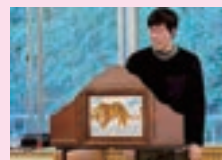
このコーナーでは、都留市内のボランティア団体、NPO法人、福祉施設などの各種団体や取り組み等をご紹介します。

都留市読み聞かせボランティア 『こぶたの会』

都留市読み聞かせボランティア『こぶたの会』は活動を始めて26年目となります。

図書館や小学校、保育園や福祉施設でお話会をしています。メンバーには大学生やミュージシャンもいて毎回楽しい時間を過ごしています。

「こぶたの会の歌」もみんなで覚えて歌ってくださいね！



都留市社協だより179号 令和8年5月1日発行

■発行 社会福祉法人 都留市社会福祉協議会
■住所 都留市下谷2516番地1(いきいきプラザ都留内)
■電話 0554-46-5115 ■FAX 0554-46-5103
■MAIL tsuru-shakyo@sage.ocn.ne.jp ■<http://www.tsuru-shakyo.jp>



HOME PAGE



Instagram : @tsurushakyo



YouTube